

第28回 JR品川支部写真展 出品目録

展示期間 : 2001年 9月 12日 ~ 9月 16日 品川区立中小企業センターギャラリー

主催 : 日本リアリズム写真集団品川支部

「だるま市・三春」

岩崎 宏



三春人形は元禄時代にデコ屋敷の愛称で親しまれる高柴地区で生まれた。今も5軒ほどの家はその伝統を守り三春人形の製作に励んでいる。毎年1

月三春町で行われるだるま市も又、昔からの伝統行事である。高柴地区で今も家業を継ぐ17代目橋本広司氏の表情を追ってみた。橋本広司氏はひょっとこ踊りの第1人者でもある。

「冒険の山」

戸井田 明



埼玉県北本市の雑木林で逢いました。今でも木々が集まっている所を「山」と呼んでいます。別に標高がある訳でもありません。ただの平地雑木林です。裏の山に行っている」とか言います。子供の頃近くの「山」は、冒険への入り口でした。隠れ家があり、どんぐりがあり、虫がいて、木登りを行い、そして

命がありました。

「輪廻転生」

小林 幸子



2月のある日冬の海を撮りたくて千葉へ出かけましたが、その日はポカポカと暖かく冬の海どころではありませんでした。仕方なく町の方に足をむけしばらく歩いていると、いつにまにか小高い丘の上につきましたそこは集落の墓地で一番奥には立派な羅漢像が何体もありました。

旧家の物なのでしょうが、石仏にもお正月を迎えた印のしめ縄が掛けてあり、風雨にさらされ風化の進んでいる様子にももの悲しさを感じました。

「あきる野座奮戦記」

渡辺 国茂



秋川歌舞伎あきる野座が誕生して8年になりました。小学生で参加した子はもう大学生。子供歌舞伎から大人歌舞伎も出来るようになりました。二宮歌舞伎の伝統を受け継ぎ21世紀の地歌舞伎をめざして奮戦中です。

「いのりの朝」

高橋 起一



深い山間の耕地に曙光が届く、ものみな立ちあがる朝だ。宿のおかみに山の名をたずねると右側が「くろひめさま」遠くの山は「はねやまさま」と教えられ

た。そう山は生活と尊敬の対象なのだ。縄文の昔から、いやそれ以前から人は山に生かされてきた、、、。そんなことを思わせる、旅のひとときのおやかな朝である。

「大河の一滴」

木下 義高

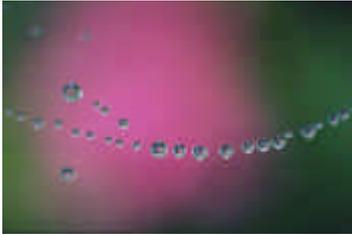


「人はみな大河の一滴（中略）しかし、無数の他の一滴たちとともに大きな流れをなして、確実に海へとくだっていく。高い嶺を登ることだけを夢見て、必死で駆けつづけた戦後の半世紀をふり振り返りながら、いま私たちはゆったりと海へくだり、また空へ還っていく人生を思い描くべきときにさしかかっているのではあるまいか」（「大河の一滴」より）

市場原理と自己責任という美しい幻想に飾られた今日の世界は、人間の草刈り場にすぎない。しかし、50年を振り返れば、私もあなたも、遺伝子を未来へ運ぶ方舟。小さく大切な大河の一滴。

「ある雨の日に」

福田 雅夫



今年は いやここ数年
雨が降ると撮影に出かけ
ます。

草花は 生き生きし 水滴
がついて思いがけない発
見があります。

昆虫は少ないが 雨の中 自然の厳しさに じっと
耐えている場に 出会うこともあります。

ある日幸運にも 幻想?的な 光景に 出会うこと
が出来ました。

「めい」「時」

町田 直之



「神様、どうかこの子が地上の
楽園で健やかにくませますよ
う、見守ってください。そし
て、我々に希望の光をお与えつ
づけください」と、祈るように
この写真つくりました。

「夢の記憶」

山下 世津子



写真って不思議ですね。
常に動きまわっている
子供を/道端の風に揺れ
ている花を/人の一瞬の
動きを/走るトラック
を/止めさせる力がある

んですもの。流れる時を凝縮させてしまう。その
中の想い、わたしの感じた物語を/あるいは、夢の
中の記憶を/想い起こさせられるかも知りませ
ん。観る人の、それぞれの物語の中で共鳴するも
のがあると、うれしいんですけど。

「梅郷の賑わい」

渡辺 亮



まだ寒さにコートを脱
ぎかねている3月。もう春はすぐそこに来て
いる事を、枝いっぱい
の花で教えてくれるの
が梅。住宅街でも家々

の庭でよく見かけはするものの、多くの樹が咲
き誇る所は、桜ほどには多くない。そんな中、
吉野梅郷はひととき見事に梅の咲き乱れる様を
見せてくれます。

「繭玉」「境内」

林 正美



以前はこの地(富士吉
田)でも機織の音が道の
奥まで響いていました。

小正月の日には繭玉を飾
り、繭の収穫の多い事も
祈った。最近では機織も

消え、繭玉を作り、飾る家も少なくなりつつあ
ります。全国的にはまだ残っている地域もあり
ますが、着実にこの地の繭玉文化は見られなく
なりそうです。

「わが町・上池台の風景」

船越 敦



仕事の関係上、いろん
なところに移り住んだ。こ
こ大田区上池台に越してき
て、早1年半。ここに、居
たという証しに、カメラを片
手に散歩をして撮ったもの

のである。この歴史や地名のゆかりはわからない。
現在は、喧騒の環七や中原街道から少し入ると 大
きな釣り堀となっている小池を低地とした坂道の多い
静かな住宅街である。

「信濃の夢回廊」

岩崎 一宇美



2001年の元旦から、無知
と無責任と無自覚に生き
て、今日まで255日を過
日。いのち続くまで無欲と
は縁がない生活をしてしま
うのかな、無抵抗を装うあ

まり 無念に歯ざしりを続けるのかな、といったところ
で支部展は一昨年は夏の雨、昨年はpoint、今年は、
信濃の夢回廊 です。八ヶ岳西麓の茅野近郊で、田
園の道路普請の夏休みのひとときを撮ってみました。
田中知事はこの風景を見て@!!!????!??
とおっしゃったとか。

「金属反合闘争」

實川 廣司

「秋のコンチェルト」他

平出 儀幸



【連絡先】

戸井田明

埼玉県上尾市富士見 1-5-14

ホームページ

<http://www.ne.jp/asahi/jrp/shinagawa>